



# てんかん患者さんへのお知らせ



当センターでは、てんかんの診断や治療方針を決めるため 「長時間脳波ビデオモニタリング」や「脳の高次機能検査」に重点をおいています



## その検査とは……

- 「長時間脳波ビデオモニタリング」:2-3日、もしくは数日間入院し、24時間脳波とビデオを同時記録して、てんかん発作と異常波の出現を調べます
- 「神経心理検査」:言語・記憶・注意・遂行機能や精神症状などを調べます
- 「MRIを用いたMRスペクトロスコピー」:記憶に最も関係している「海馬」や人間らしさを関連する「前頭葉」、連絡通路である「側頭幹」の脳の働きを調べます
- ;PET ; てんかん焦点の検索と「海馬機能検査」

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 西の京病院の協力です



当院では、さらに以下の臨床研究を共同で行っています。

1. 脳波を用いててんかん発作予測システムに関する研究
  - ✓ 独立行政法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 脳機能計測研究室
  - ✓ 国立大学法人 電気通信大学 情報メディアシステム学専攻 人間情報学講座
2. 遺伝子型に基づくカルバマゼピンの  
オーダーメイド投薬の検証に関する前向き研究(GENCAT study)
  - ✓ 独立行政法人理化学研究所統合生命医科学研究センター



詳しいことを知りたい方は遠慮なく主治医にお尋ね下さい



奈良医療センター